米沢有為会 米沢支部だより

第 17 号
平成20年 8 月 1 日
発行者
㈳米沢有為会米沢支部
支部長 安部三十郎
米沢市金池5-2-25
☎ 0238-22-5111

平成20年度事業計画、予算など決まる

㈳米沢有為会米沢支部総会は、平成20年 6 月 7 日㈯午後 3 時から、アクティー米沢大会議室で開催しました。安部支部長あいさつのあと議事にはいり、平成19年度庶務報告及び収支決算を承認。平成20年度事業計画、収支予算も原案通り可決しました。その他では、我妻榮記念館の運営体制についてと有為会所有財産（山林）の現況について報告があり、了承されました。

引き続き、産業功労者、特別顕彰者の表彰式が行われ（教育功労該当なし）、伊藤裕子さんらを表彰＝写真㊤（くわしくは次ページに掲載）。その後、懇親会に移り、初の試みとして米沢マジシャンズクラブによるマジックショーを楽しみました。

米沢有為会の山林について

副支部長　星　一郎

一、平成十九年度米沢有為会の決算報告書の一隅に、山林六〇五、一四七円の記載があります。その顛末についてご報告申し上げたいと思います。

かつて当会の役員であられ、山形支部長として活躍なされた篠田甚吉氏は米沢出身者、そして篠田病院の創設者として令名高い方であられたことはご承知の通りです。諸事業の一つに山林の所得がありました。後輩諸君の援助の原資に役立つようにとの趣旨で西村山地方に山林を購入された次第であります。戦後物資不如意の時、杉等を育成し成木になった折、売却すれば育英資金の一部になるとのお考えであります。地区については色々検討した末、現在地にきまり、昭和三十年七月その成案を本部へ送った結果、本部では色々検討の末、同年十月現地視察、昭和三十一年二月最終決定になりました。併せて管理規定も定められ当時の山形支部長が管理経営の任にあたることになりました。その後山形支部会員三十余名が鋭意育成に当り特に指導方として西村山地方森林組合の助言協力を頂きました。昭和六十三年間伐事業も行っています。その後時代の趨勢が大きく変化して山林の価値も激減しました。平成年間に入ってからは更に加速し、本部からも売却してはとのお勧めもあり、本部、山形支部、西村山地方森林組合が協議しましたが、特に名案も出ず、最低間伐でもして維持に専念する程度の対策でした。売却案については当有為会の基本精神もあり、維持に努めて現在に至りました。山形支部も平成十五年米沢支部と合併しましたので、今年度から米沢支部が窓口を担当することになりました。「環境保全」「緑化推進」の流れもあり先輩の意志に沿うように努力を続けたいと思います。

二、山林概況

- ●所在　西村山郡大江町黒森字徳沢
- ●面積　一九、八七七平方米（二町歩前後）

杉一、二八・落葉樹〇、五五・赤松〇、一六（各ヘクタール）

産業功労者を表彰

支部総会の席上、産業功労者として、また特別顕彰者として表彰された皆さんを紹介します。なお、育英奨学生採用者については会誌五十八号に詳しく掲載されます。

▼伊藤裕子さん

昭和六十年に設立された米沢電機工業会の設立準備段階より従事され、現在までの長きに亘り、事務局担当として諸事業並びに会務のサポートなど献身的に尽力。抜群の企画力・交渉力・調整力を発揮され、産学官交流や企業間広域交流等を大きく推進させるなど置賜の産業界の振興発展の陰の力となって貢献されました。

▼米沢市立第二中学校駅伝チーム（男子）のみなさん

日頃の努力と優れたチームワークを発揮し、山形県中学校駅伝大会優勝、東北大会では第三位の成績で見事全国大会出場を果たす。その活躍は、メディアにも取り上げられ、学校全体・米沢市の陸上界に「やればできる」という希望と自信を与えました。

▼川西小松BBJリレーチームのみなさん

山形県小学生陸上大会男子四×一〇〇メートルリレーで優勝し、全国小学生陸上競技交流大会に出場。準決勝まで進出し、全国で九位になるなど各種大会・記録会において優秀な成績を収めました。

▼伊井大河さん（興譲小）

山形県少年少女スポーツ交流大会ソフトボール投げで、春の大会では惜しくも入賞は逃したものの、その後の努力により、秋に行われた県大会では春の記録を十メートル以上も上回る自己ベストの記録で優勝を果たしました。

▼色摩伸平さん（塩井小）

トラック競技では難しいとされるハードル走に果敢に挑戦し、山形県少年少女スポーツ交流大会男子八十メートルハードルで優勝。その記録が県学童ランキング第一位となり、平成十九年度山形県小学校スポーツ優秀賞を受賞しました。

▼木村賢明さん（窪田小）

山形県少年少女スポーツ交流大会男子走り幅跳びで見事優勝。その記録が県学童ランキング第一位となり、平成十九年度山形県小学生スポーツ優秀賞を受賞しました。

▼樋口直貴さん（関小）

山形県小学生陸上競技大会五年男子一〇〇メートルで見事優勝し、全国大会に出場。ハイレベルの全国大会でも、自己記録を更新する活躍で準決勝進出を果たしました。

本部表彰の方々

〈教育功労〉

▼大久保秀和さん

地域総合型スポーツ（塩井FAC）の指導者として、長年指導に携わっている。毎週土曜日の活動に積極的に参加し児童への直接指導の中心となり、特に陸上においては、模範を示しながら指導している。全国大会への出場、県大会での優勝など各種大会で優秀な成績を収める小学生を育てている。

地域の児童の健全な育成において、スポーツ指導を通して多大なる貢献をし、確かな実績を残しました。

▼田島恵一さん

米沢市内の小・中学生を指導する中、平成十四年にジュニア陸上クラブを創設する。山形県ジュニア駅伝競走大会に第一回大会より米沢チーム監督として現在に至る。チームは女子は三回、男子は四回の優勝を数える。そして東北や全国大会で活躍する多くの選手を育てている。市内の小・中学生を熱心に指導し、特に継続して取り組むことの大切さを教えています。

〈産業功労〉

▼桐町まちづくりプロジェクトZ隊のみなさん

桐町商店会は一九〇一年（明治三十四年）、米沢市第一号の青年部組織「協和会」を発足し、多くの事業を重ね地域をリードしてきた。現在、歴史や文化等の地域資源を活かし、中心市街地の賑わいの創出、機能強化、それに各個店の魅力の向上を図ることを目的にドラマティック戎市を開催している。

経済産業省・中小企業庁が主催する「がんばる商店街77」に選ばれる等、各方面からも高い評価を得ている。

〈特別顕彰〉

▼さくらいすおしょうしなチーム（山形県立置賜農業高等学校）のみなさん

「世界に誇る！新ごはん」をテーマに開催された「高校生対抗ごはんCUP2007」決勝大会で、三名の女子生徒がチームを組み参加し二位を受賞した。

この大会を通して、マスコミ及びインターネット上で三名の生徒はトップセールスマンとして本県農産物を広く全国に発信することができました。

平成20年度　社団法人米沢有為会米沢支部事業計画

1. 会員の増強運動
2. 会員交流会の開催
3. 会費収納率の向上
4. 教育・産業功労者表彰
5. 米沢支部だよりの発行（年2回）

平成20年度　社団法人米沢有為会米沢支部会計予算

（収入の部）　（単位：円）

項　目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	摘　要
繰越金	640,149	868,465	△ 228,316	平成19年度からの繰越金
会費	2,000,000	1,500,000	500,000	通常会費 @ 3,000×450＝1,350,000 特別会計 @ 7,000× 70＝ 490,000 賛助会費 @10,000× 16＝ 160,000
事業収入	320,000	0	320,000	米沢支部総会懇親会会費 120,000 （@3,000×40名） 会員交流芋煮会会費 200,000 （@4,000×50名）
諸収入	1,851	535	1,316	預金利息等 1,851
合　計	2,962,000	2,369,000	593,000	

（支出の部）　（単位：円）

項　目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	摘　要
本部交付金	1,000,000	750,000	250,000	会費 2,000,000÷2＝1,000,000
報酬	180,000	180,000	0	常務理事報酬 @15,000×12月＝180,000
会議費	200,000	180,000	20,000	総会及び理事会費
旅費	20,000	300,000	△ 280,000	交通費
印刷製本費	150,000	100,000	50,000	総会案内状及び封筒印刷 他
通信運搬費	350,000	300,000	50,000	総会案内・会誌・会報等郵送料
事業費	580,000	350,000	230,000	・表彰に関する経費 240,000 （内訳）教育功労 @30,000×2名＝60,000 産業功労 @30,000×2名＝60,000 特別顕彰 @10,000×5名＝50,000 その他経費（筆耕他） 70,000 ・講演会及び会員交流会 250,000 支部だより発行（2回） 90,000
消耗品費	50,000	70,000	△ 20,000	ゼロックス代他
食糧費	50,000	60,000	△ 10,000	監査及び各部会の折食事代等
諸費	10,000	20,000	△ 10,000	
諸手数料	40,000	0	40,000	郵便振替手数料（会費振替手数料）
予備費	50,000	59,000	△ 9,000	
次期繰越金	282,000	0	282,000	
合　計	2,962,000	2,369,000	593,000	

平成19年度　社団法人米沢有為会米沢支部決算書

【平成20年3月31日現在】

（収入の部）　（単位：円）

項　目	予算額	決算額	比較増減	摘　要
繰越金	868,465	868,465		平成18年度からの繰越金
会費	1,500,000	1,918,000	418,000	通常会費 @ 3,000×405＝1,215,000 特別会費 @ 7,000× 79＝ 553,000 賛助会費 @10,000× 15＝ 150,000
諸収入	535	289,122	288,587	米沢支部総会懇親会会費 90,000（@3,000×30名） 会員交流芋煮会会費 196,000（@4,000×49名） 預金利息 2,012 雑収入 1,110
合　計	2,369,000	3,075,587	706,587	

（支出の部）　（単位：円）

項　目	予算額	決算額	比較増減	摘　要
本部交付金	750,000	940,305	190,305	1,918,000÷2－18,695（振替手数料）＝940,305
報酬	180,000	180,000	0	常務理事報酬 @15,000×12月＝180,000
会議費	180,000	222,840	42,840	・総会経費 201,600 ・理事会経費 21,240
旅費	300,000	83,560	△ 216,440	本部理事会旅費（東京）2人×2回
印刷製本費	100,000	129,913	29,913	・総会案内はがき印刷 17,640 ・封筒印刷 91,350 ・その他 20,923
通信運搬費	300,000	297,750	△ 2,250	・支部総会はがき発送 56,100 ・会報発送 55,990 ・会誌発送 42,980 ・支部だより発送（2回）97,630・その他 45,050
事業費	350,000	492,660	142,660	・表彰に関する経費 105,935 ・理事、評議員合同会議・講演会・交流会 290,125 ・支部だより発刊に関する経費 96,600
消耗品費	70,000	35,480	△ 34,520	・ゼロックス代 22,680 ・その他 12,800
食糧費	60,000	13,900	△ 46,100	・監査の折昼食代 3,000 ・その他懇親会等経費 10,900
諸費	20,000	1,640	△ 18,360	証明書等他
諸手数料	0	37,390	37,390	郵便振替手数料（会費振替手数料）
予備費	59,000	0	△ 59,000	
合　計	2,369,000	2,435,438	66,438	

収入合計 3,075,587 － 支出合計 2,435,438 ＝ 繰越金額 640,149

平成19年度　我妻 榮記念館営繕特別会計決算書（本部会計へ繰入）

（単位：円）

収入 項目	収入 金額	支出 項目	支出 金額	摘　要
前年度繰越	1,305,342	本部会計へ	1,306,268	〔寄附金等積立金〕 *旧山形支部精算金 85,342 *遠藤 廣様 1,000,000 *加藤洋子様 20,000 *支部記念館営繕積立金 200,000 （普通預金通帳解約済）
預金利息	2,606	振込手数料	1,680	
収入合計	1,307,948	支出合計	1,307,948	

リレー随想 ④

仙台興譲館寮の思い出

高畠町　長谷川　啓二
（昭和36年～40年、入寮）

大学を受けるとき、国立大学に入って寮で過ごすという親の希望があり、また高畠中学の一学年上の武田真二さん、二学年上の大越文彦さんがいるということで希望しました。

入寮当時風呂は薪で沸かしていました。それで薪割りが必要でしたがこれは家で経験してきたので苦にはならず、積極的にやったせいか寮母さんに特にかわいがられたのか、食事でご飯を盛る時に、「はい、長谷川さん」と他の人より多くしていただいて食べました。（要望したのではありません）当時は運動していたせいかいつも空腹で、楽しみは夜十二時過ぎると余った食事は誰が食べてもよいということだったので、（たいてい二人分くらい残っていた）無料で一食食べられるということで毎日のように利用しました。

そのせいか寮の同窓会で久しぶりに寮母さんとお会いしたとき、多くの人は忘れていたようでしたが、なんと私のことは覚えていてくれたのには驚き、感激しました。

年間授業料が九、〇〇〇円、昼食はパンが一〇円、牛乳が一〇円の二〇円という貧しい時代でしたが、寮生を二つに分けての野球の試合、芋煮会などの行事もあり楽しい時代でした。その懐かしい経験が忘れられず、息子も六年間お世話になり（場所、建物は一新していた）、今は興譲館寮同窓会ということで、年齢が我々の近くの元入寮生に声をかけ、年に一回集まって楽しい時間を過ごしています。

ということで貴重な仙台興譲館寮、及び寮生の発展を願っています。

活躍する会員紹介 ⑤

亀　岡　博

米沢市芸術文化協会会長・山形県芸術文化会議副会長・置賜文化フォーラム会長・米沢上杉文化財団副理事長・全国市民憲章推進協議会米沢大会副実行委員長

米沢市芸術文化協会の会長として、多忙な日々を過ごしておられる亀岡博さんに話を伺いました。

◉会長はいつから？

平成９年、九里茂三会長から引き継ぎました。かれこれ11年が過ぎてしまいました。

◉その間、いろいろなことがあったと思いますが、印象に残ることは？

平成10年、事務局を市の文化課から市民ギャラリーに移転することにより、独り立ちすることになりました。翌年には、１年がかりで話し合いを重ね、米沢文化懇話会から米沢市芸術文化協会へと改名し、ロゴマークも募集しました。平成13年の上杉鷹山公生誕250年祭には、鷹山公の大壁画制作や上杉鷹山の演劇公演などで、会員のエネルギーで町を賑わせました。平成15年は、国民文化祭やまがた2003の開催、翌16年には市民芸術祭40周年を記念し、「最上川源流の町米沢に新風を吹き込もう」をスローガンに「おしょうしな音楽祭」が盛大に催されました。平成18年度には、市民ギャラリーの指定管理者となり、ギャラリーの管理運営と共に、県美展、こども芸術祭、みんなの個展の自主事業も行うようになり、さらに活動が活発になりました。

◉今後は、どんな活動を？

ご承知のように、来年NHK大河ドラマに直江兼続の「天地人」が放送されることになりました。これを受け、町の活性化を図ろうと様々な動きが始まりました。私たちも「愛」をテーマにした川柳の全国公募、まちなかギャラリーなど多彩な催し物を計画中です。

◉どのような方向に向かわれるのでしょうか。

目的は、まちづくりです。まち作り、まち興し、人づくりと考え、文化活動に燃える仲間が、惜しみなく力を出しあうエネルギーに満ちあふれています。そのような力を結集し、魅力あふれるまちづくりに少しでも貢献できればと思います。

我妻榮記念館の運営体制について

平成４年開館以来、館長、事務局長、管理人を置き管理運営をしてまいりました。それぞれの職名にあたる方が前任者から指名を受けて任務を担当しておりました。

記念館の運営については、今までは有為会本部直属でしたが、施設の管理運営は地元の米沢支部が直接かかわりを持った方が何かと都合が良いとのことで米沢支部が行うことになりました。館長は米沢支部の推薦を得て理事会で承認を得る手続きをし会長が委嘱するとし、その他の職員、運営委員は館長が委嘱することになりました。

以上のように組織的に整備され体制が整いましたのでお知らせいたします。

《20～21年度》

名誉館長	我妻　尭
顧　問	松野良寅
顧　問	小関　薫
顧問（前館長）	今田久夫
館　長	伊藤和夫（6月1日より）
事務局長	梅津幸保（米沢支部常務理事）
管理人	小林秀一
運営委員	遠藤　拓
運営委員	安部　敏
運営委員	佐藤英男
運営委員	五十嵐京子
運営委員	高橋節子
運営委員	本多和彦

編集後記

▼本会は来年度に創立百二十周年を迎える。▼平成元年に創立百周年記念特集号（復刊第二十九号）が刊行されている。松野良寅先生が百年の歩みを読物風にまとめられ、興味がそそがれる。

▼明治二十二年、郷土愛を土台に同郷人の団体をつくり、育英奨学事業による知徳の研摩と相互の親睦を目的として発足。民間の善意によって育英奨学事業が連綿として続いている重みを今更ながら実感している。

（山宮）